

時空を遊ぶ・秋の夕べ

環境音楽 2005

音の群れ・時の花・日本の現代風姿考

平成17年
10月6日(木)
開場午後6:00 開演6:30

草月ホール



ブルース・スターク (ピアノ)
サイ・イエングアン (ソプラノ)
ジョン・海山・ネプチューン (尺八)
ピーター・バラカン (トーク)

¥3,000 (全席自由)

電子チケット
ぴあ 0570-02-9999
0570-02-9990
Pコード: 207-616

■主催: 社団法人日本バックグラウンド・ミュージック協会 ■後援: 文化庁 ■協賛: 社団法人日本音楽著作権協会 ■協力: 株式会社テムコジャパン

「J」から見る現代の音風景

ポピュラー音楽の世界では、1990年代の半ばころから「Jポップ」という名が使われるようになりました。それは70年代の「ニューミュージック」という言葉と同様に、さまざまな種類の音楽を含んだ名称であります。「ニューミュージック」の「ニュー」は、それまでの「歌謡曲」「演歌」「プロテスト・フォーク」に比べれば新しかったのであり、「Jポップ」の「J」も同様に、「J」と呼ばれるための“なにか”を含意していると考えられます。けれども、それははっきりと言語化されているわけではありません。言うまでもなく「J」はJapanの頭文字、文字通り「日本」。JR、Jリーグなど、Jポップのみならず、「J」を冠する名称は今日多く見られます。そのようなことから、登場から20年近くの時間を経てきた「J」には、すでに略称の範囲を超えて、何らかの文化的、時代的なキーワードとしての機能が備わっているように見うけられます。この公演では、日本に長く在住する外国人ミュージシャンが日本の音・音楽を素材としてイメージション豊かに作り上げた世界を披露してくれます。それは彼ら・彼女らが感じている「J」を私たちが感じる機会であると言えるでしょう。「J」とは素材の問題なのか、それとも時間や空間の捉え方の問題なのか。あるいは、私たちがあいまいに感じている「J」と同じものなのか違うものなのか。いずれにしても、「J」の謎を解く機会に私たちは立ち会うことになるでしょう。



音の群れ・時の花・日本の現代風姿考

音が生まれ、私たちを取り囲み、時の流れの中で成熟していき現代の音環境として結晶する。これが環境音楽2005のイメージです。

出演者の横顔



ブルース・スターク
ジュリアード音楽院で作曲とピアノを学ぶ。クラシックとジャズをバックに自身のルーツであるアイリッシュ・トラッドの哀感をにじませる。常に作曲家としての意識を持つと共に日本文化にアイリッシュ・トラッドとの共通点を見出し、童謡などのアレンジを通して独自の感性を表現する。



サイ・イエングアン(崔 岩光)
大連生まれの中国屈指のコラトウラ・ソプラノ。日本でデビューは1989年日中合作「魔笛」の「夜の女王」。その後、オペラやコンサートなど世界を舞台に活躍する。日本では山田耕筰の作品や子守唄などをとりあげ、最近では石川啄木の「初恋」を収録したCD「赤とんぼ」が好評を博す。日本の人情性を満ちた表現で歌い上げる。



ジョン・海山・ネプチューン
米国サンディエゴ生まれ。ハワイ大学で民族音楽を専攻する中、竹の文化に惹かれて来日。京都で尺八を学ぶ。インド音楽との共演もありジャンルにはこだわらない。ハーブ、ギター等さまざまな楽器とのコラボにより生み出される音楽は、音の豊やかさと相俟って人々を魅了する。



ピーター・バラカン
ロンドン生まれ。イギリスの大学で日本語を勉強し、来日以後26年になる。放送を中心としたさまざまなメディアで独自の音楽紹介を展開するブロード・キャスター。特にラジオではオリジナルな選曲と率直な語り口で幅広い人気を持つ。現在はワールドミュージックの日本への紹介に取り組んでいる。

■問い合わせ先: 社団法人日本バックグラウンド・ミュージック協会
〒102-0093 東京都千代田区平河町1-7-5-609
Tel.03-3234-9668 Fax.03-3239-0847
e-mail:office@bgm.or.jp
http://www.bgm.or.jp

■草月ホール: 〒107-8505 東京都港区赤坂7-2-21
Tel.03-3408-9113 http://www.sogetsu.or.jp

■アクセス: 地下鉄銀座線・半蔵門線・都営大江戸線 <青山一丁目駅>
A3出口より徒歩5分(青山通りを赤坂見附方面へ向かい右側、カナダ大使館先)